



万博会場に未来の枚方が出現？ 子どもたちの想像力を集結した作品がついにお披露目

大阪・関西万博で、府内の市町村が連携・協力し大阪の魅力を国内外へ発信するイベント「大阪ウィーク」が開催されている。本市は8月3日(日)に、市PR大使で、絵本・切り絵作家のたけうちひろさんと子どもたちが「未来の枚方のまち」をイメージして作り上げた、想像力豊かな数々の作品を展示。これまで8回にわたってワークショップを開き、未来の建物や乗り物など延べ約400人の子どもが制作した作品たちを一堂に披露する。10mの巨大な地図の中央には、枚方にある人気テーマパークをイメージした高さ2.5メートルの観覧車もまちのシンボルとしてそびえ立つ。たけうちひろさんは、「子どもたち自身が“どんな街に住みたいか”、“どんな街になっているか”を考え、作りあげた地図や街並みは迫力満点。未来を担う子どもたちのパワーを感じてもらえそうです」と話す。

★「みんなで創ろう！この街の未来」プロジェクト

会場：大阪・関西万博 ギャラリーWEST

日時：8月3日(日) 午前9時～午後9時



みんなで創ろう！この街の未来

市内の子どもたちが、たけうちひろさんと一緒に市内企業等から提供された廃材などを活用し、「枚方にあったらいいな」と思う建物・お店・乗り物や、枚方を表した高さ2.5mの観覧車や10×5mの巨大地図を計8回にわたるワークショップで制作。万博会場ではそれらを配置し、子どもたちが描いた「未来の枚方のまち」を展示する。まちのシンボルとしてそびえ立つ観覧車の土台部分(4面)には、「菊」・「桜」・「柳」といった市の花や木の切り絵であしらい、内側から光を照らすことで、幻想的な空間を演出。残り1面には、たけうちひろさんによる切り絵も！

市の担当者は、「大人にはない自由な発想で子どもたちが作り上げた未来のまちを、万博で多くの方に見ていただき、枚方の魅力を発信したい」と話す。当日は、作品の展示に加え、オリジナルうちわや「未来の枚方のまち」に登場させる未来人を制作するワークショップを同時開催予定。



▲ 横幅10mの地図に高さ2.5mの観覧車
(7月8日リハーサルの様子)



▲ 観覧車の土台部分を制作
(7月13日ワークショップ)

★＜指導・監修＞ たけうちひろさん

枚方市出身・在住。枚方市 PR 大使。武蔵野美術大学短期大学部卒業。

こども造形絵画教室おえかきひろば運営、保育園や小学校・障害者福祉事業所の工作指導や切り紙をはじめとした工作本の執筆・監修を手掛ける傍ら、自らの制作活動に励む。

2015 年、2016 年イタリア・ボローニャ国際絵本原画展入選をきっかけに国内外で絵本を出版。現在出版した絵本は 10 ヶ国語にのぼり、絵本は NY” Society of Illustrators” The Original Art (Year’s best children’s books)、The 2022 Good Housekeeping Kids’ Book Awards などを受賞。また国内外で原画展示やイベントを行う。

2018 年 3 月 8 日「国際女性デー」には世界 12 人の女性アーティストに選出され「Google anniversary Logo」を制作。



公式サイト <https://www.chihirotakeuchi.com/>

★万博出展までに 8 回のワークショップで

延べ約 400 人が力を合わせ「未来の枚方のまち」を制作！

【第 1 回】令和 6 年 7 月 21 日 未来の建物・乗り物制作

【第 2 回】令和 6 年 10 月 13 日 未来のランタン制作

【第 3 回】令和 7 年 2 月 16 日 未来の建物制作

【第 4 回】令和 7 年 5 月 25 日 未来の乗り物制作

【第 5・6 回】令和 7 年 6 月 8 日・15 日 未来の地図制作

【第 7・8 回】令和 7 年 7 月 13 日・21 日 未来のモニュメント制作



▲建物制作（第 3 回）



▲乗り物制作（第 4 回）



▲地図制作（第 5 回）

★万博会場での出展後も枚方市内で展示

当日、万博会場に行けない方も、市内で作品観覧可能。

8 月 6 日（水）～19 日（火） 御殿山生涯学習美術センター

8 月 23 日（土）～31 日（日） 枚方 T-SITE

★市内企業等による廃材・端材提供

作品は、市内企業等から提供のあったパーテーションとして使用していた段ボール外枠・三角ウレタンなど、廃材を活用。飲食店で使い終えた、空きビール樽のような珍しい廃材も、子どもの手によって乗り物や建物に生まれ変わった。



★常翔啓光学園高等学校によるボランティア

43 人の高校生が、子どもたちの工作補助役のボランティアとして参加。子どもたちの感性に寄り添いながら作品作りを手伝った。

★本プロジェクトおよび大阪ウィークの詳細については、市ホームページ参照(下記コード)。



プロジェクト



大阪ウィーク

<お問い合わせ>

総合政策部 政策推進課

☎ : 072-841-1149、Fax : 072-841-3039

Mail : seisakusuisin@city.hirakata.osaka.jp